

JANUARY 30, 1920. NO. 7258

The Japanese American News

號八十五百二千七第 (金) 日十三月一年九正大

國際裁判

聯合委員會

聯合

委員會

聯合

セクラメント (廿八日)
健上要 求

▲承認せば、麺麪屋の勤労者の人とのニオンは二月初めの週間より一週九時半の賃銀増額を要求せんと昨夜商談を開いたが此問題は来る土曜日の協議に於て決定する筈である。主側にては此等ニオンは來る毎に角ニオン側の要求強硬が前回成立してゐるのであるに拘らずニオン側が二月よりの増給を迫るは其要約を破棄するものであると主張して居る兎に角ニオン側の要求強硬が前回成立してゐるのであるに拘らずニオン側は苦しい立場だらうがらしい。

芋の出荷期 (廿九日)
市場の要需 (廿九日)

當市ニスラクン問屋主人の

河下地方を最上位に推し

に加州佐藤ホーネー作業組合

三十日午後二時から

ボート會議

▲三十日午後二時から

多數の出席者を希望

▲多くの出席者を希望

▲多くの出席者を希望

▲多くの出席者を希望

日本大會幹事遠藤幸四郎氏は留

美を提出せしワオ・アグロープ

▲多くの出席者を希望

